

人新世におけるツーリズム

地域共創学部
観光学科
准教授

片瀬 葉香



研究シーズの紹介

「人新世 (Anthropocene)」第3ステージの今、地球システムに負荷をかけないツーリズムのあり方が模索されている。「人新世」とは何か、その動きにツーリズムはどのように関係するのか。「自然」に匹敵するほどの「ジオフォース (geophysical force)」としてのツーリズムは、地球システムをいかに改変してきたのか—その負のインパクトは何か—特に、気候変動といった地球環境の変化との関わりにおいて、

ツーリズムが目指すべき方向性と展望とは何か。本研究の目的は、地球の持続可能性という今日的課題を、(i) 非炭素ツーリズム (ii) ステイホームツーリズム、(iii) 目的地管理の3つの観点から考察し、私たちの行動が地球システムに関与していることを理解し、地球温暖化を緩和する新しいシステムの創造を探究することである。



人新世と ツーリズム

- 2000年に、ノーベル化学賞受賞者P. J. Crutzen (クルツェン) は、今や完新世は終わり「人新世 (Anthropocene)」—人類の時代—であると主張した。
- Gren & Huijbens (2014) は、人新世の視点から、ツーリズム研究に着手した。

【人新世】

古代ギリシャ・ローマ時代
十字軍遠征

第1ステージ: 産業の時代 (約1800–1945年)

1750 イギリス産業革命
1825 英鉄道の開始
1900 米フォード大衆車の生産開始
1945 第二次世界大戦の終結

第2ステージ: 大加速時代 (1945–約2015年)

1970 ジャンボジェット機の就航
1989 ベルリンの壁崩壊
気候温暖化による影響の顕在化

第3ステージ: 地球システムの管理者の時代 (約2015年以降)

1997 京都議定書
2015 パリ協定
2021 グラスゴー気候合意
2022 COP27開催

【ツーリズム】

転地療養、巡礼、グランドツアー

1841 トーマス・クックの団体旅行
1869 米大陸横断鉄道の開通
1936 仏有給休暇法の成立

1960 マスツーリズムの発達
ハワイ・地中海リゾート開発、スキーの大衆化
1972 世界遺産条約
1992 気候変動枠組条約
生物多様性条約

2019以降 COVID-19とツーリズム制限・緩和

期待される活用シーン

- 温室効果ガスの排出量を削減し、地球システムへの負荷を軽減するツーリズムを実践したい。



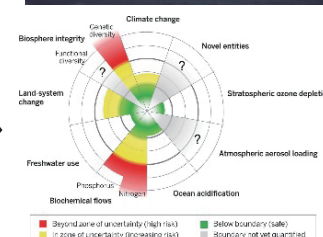
持続可能なツーリズム形態への移行を奨励するための「ソフト」対策に着目した目的地管理に関する事例分析・情報収集が可能です。

- 気候温暖化などの地球環境問題について知識を共有し、協力関係を構築したい。



「地球システムの管理者の時代」に相応しいツーリズム実践に向けたパラダイム構築が可能です。

Med Pearls Project



その他の研究テーマ

- 南北格差・貧困問題に対処したツーリズムに関する研究
- 地球倫理にかなったツーリズムに関する研究